

令和6年2月5日

ブルーカーゴ株式会社

(第75回) 1月度安全衛生委員会

開催日 2024年2月5日(月) (前回1月13日)

開催場所 三重製作所食堂

- 1) 全員唱和 (副安全衛生管理者)
- 2) 開会の挨拶 (副安全衛生管理者)
- 3) 1月発生事故検証 (対象関係推進員)
- 4) 報告事項
 - ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 (副安全衛生管理者)
 - ②安全パトロール報告 【リスクアセスメント】 (白澤安全担当)
 - ③各部署別安全取り組み結果及び計画 (各安全推進員)
 - ④ヒヤリ・ハット報告及び内容確認 (水谷取締役)
 - ⑤労働災害統計 (水谷取締役)
 - ⑥その他 要望、意見等 Q C活動による作業改善の進めと改善提案。
- 5) 次回 2月度(第76回) 安全衛生委員会開催
3月 日(曜日) 14時00分～
- 6) 閉会のことば (統括安全衛生管理者)

安全は すべてに 優先する。

安全管理の基本理念

- 1)安全は全てに優先する。
- 2)安全なくして生産なし
- 3)生産なくして会社の繁栄なし
- 4)会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 5)安全管理の原点は人間愛と責任感である

安全監督者管理の5大任務

- 1)安全衛生の確保
- 2)品質の維持向上
- 3)生産目標の達成と納期の厳守
- 4)原価低減
- 5)職場の人間関係の向上

平成30年1月6日

”ご安全に、”

令和6年 安全衛生計画（1月1日～12月31）

安全目標 「事故ゼロ」

具体的テーマ 「見せる安全・見られる安全」

テーマの意味 「意識と行動」

具体的な行動 「服装・健康・挨拶・指差呼称・一旦停止・声掛け
・ 確実な手順・注意喚起」

取り組み

- ・ リフト全体朝礼の活用(1回/月)
- ・ リフト・輸送安全会議及び安全衛生委員会の開催（1回/月）
- ・ 安全パトロールで意識と行動のチェック。
- ・ 安全衛生ニュース発行。
- ・ 明確な指差呼称の行動。
- ・ HHTの情報を生かし改善を行う。
- ・ 服装の乱れやハッキリした挨拶の確認。

キャッチフレーズ

あなたの 安全行動は見られています。

それなら行動で見せましょう。

(人身、物損) 事故報告書

水谷社長 殿

提出日: 2024年01月19日

報告者
ブルーカーゴ部

分類	1.転落・墜落 ②転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 17.交通事故(道路) 18.交通事故(その他) 19.動作判定反応・無理な動作 20.その他 22分類不能					
内容	事故内容を簡明瞭に パレットに積みぎ転倒	発生日時 2024年01月19日(金)15時30分				
場所	発生場所 出荷場(屋外)	当事者 部署 リフトクルー?				
対象	製品又は対象物 6210JT-A リリナー	車番 内訳 入数×箱数 41個×1箱				
事故発生	時系列で短く分かり易く	略図又は写真: ガードレール				
	①Aの63082とCの(後)6311Lは場内同じ行き先である					
	②Bのパレットの存在は分っていた					
	③時間があっていたので少し急いでいた					
	④CのPLには空が有りPLにして場内に運ぼうとした					
	⑤Aの63082をCの木パレットに運ぶことにした(次の作業を考えていた)					
	⑥私はCにおいてAに向かった時Bのパレットは目印中に無かった(失念)					
	⑦Bのパレットで積みぎ私は転倒した					
	⑧Bの6210JTのポリ容器に突ついた					
	⑨突きついたポリ容器が転倒					
	⑩ポリ容器の中の製品が地上に散乱した					
⑪事故発生						
原因	状況の内、どこが事故発生に直結したか 次の作業を考えて作業したので足元のパレットは目印中になかった。	直後対応 近くにいた上司に連絡した				
損害	事故品 [修理・選別・廃棄]	類似事故は? 有り・初めて				
	損害金額 千円 対応時間 時間		事故処理 事故品 NTNさんに連絡し選別を行った			
再発防止	人的 (人が対応する内容) このような場合はどちらか側のパレットに寄せて積み替える。移動前に安全ルートを確認してから行動する。	設備 (設備で対応)				
	上司コメント 漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く。部品搬入の仕事は沢山のパレットを使用する。足元をよく見て移動を行って下さい。移動時は、動作の前に安全な移動ルートを確認してから行動して下さい。		日付 1月19日			
(写)送付先		総括安全衛生管理者	副安全衛生管理者	事務局	安全衛生管理者	安全推進委員

注) ① 太枠内は当事者記入・不明の部分は空白
② 事故発生後2日以内に提出

(人身、物損) 事故報告書

水谷社長 殿

提出日: 2024年1月31日

報告者
ブルーカーゴ(株)

分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 ④.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 17.交通事故(道路) 18.交通事故(その他) 19.動作判定反応・無理な動作 20.その他 22.分類不能						
事故発生	内容	事故内容を簡単明瞭に 2段積みw1の上にw1を乗せよとしたが、合番を確認おぼれに 下に下ろした時に、w1が引っかけ製品が落下した		発生日時	2024年1月30日(火) 1時30分		
	場所	発生場所 スロ-70	車番	FB15RL-15(NTH)			
	対象	製品又は対象物 6208(cc) w1	内訳	入数×箱数 3.043t	部署	リフト	
	原因	時系列で短く分かり易く ① リフトで2段積みw1の上にw1を乗せよとした。 ② 3段積みにも積もったが、合番を確認おぼれに下に下げた。 ③ 引っかけたまま引かせた事で積んであるw1が引かかった。 ④ w1が傾いた為慌て昇降レバーを戻したが逆倒。 ⑤ 製品が落下した。 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 事故発生		相手	-		
	損害	状況の内、どこが事故発生に直結したか 今までの動作で大丈夫だろうと思い込んでいたため。	事後対応	本人→徳永→大塚課長			
	再発防止	人的 (人が対応する内容) リフトの引っかけを完全に前まで引き込む。一時的な動作も慌てずゆっくりやる。 設備 (設備で対応)	事故品	品証確認し、通常流軌、指し、前工程完了後再度確認実施し問題なし。			
	上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く 今まで似たような事故に悩まされただけで、この隙間ギリギリの作業はいつ事故が起きてもおかしくありません。今後は余裕を持って作業を行って下さい。				日付	2月/日

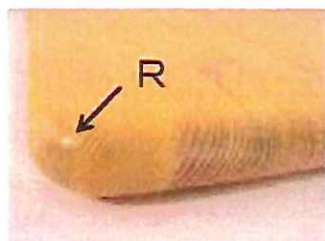


(写)送付先

総括安全衛生 管理者	副安全衛生 管理者	事務局	安全 衛生 管理者	安全推進委員

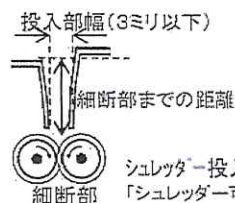
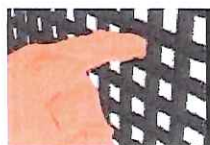
注) ① 太枠内は当事者記入・不明の部分は空白
② 事故発生後2日以内に提出

◆ 鋭利な端部、角、突起物、段差などのないものにする

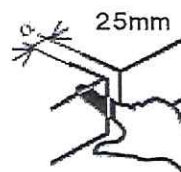


◆ 挟まれないよう機械の形状、寸法などを変更する

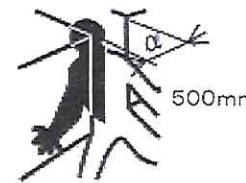
- ① 狭まった最少隙間が、人体部位より広ければ挟まれない
押しつぶされない最少隙間(JIS B 9711)
- ② 隙間に進入できなければ、挟まれない
進入できない隙間(JIS B 9718)



「シュレッター可動部の安全に関するガイドライン」



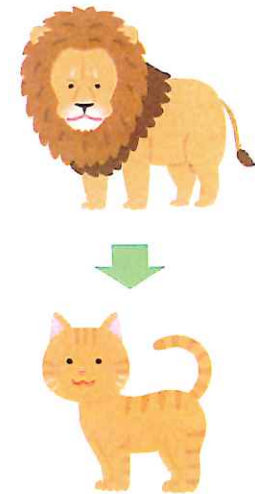
指の場合



上半身の場合

◆ エネルギー（駆動力、高さ、電圧、圧力など）を十分小さなものにする

- ① 機械の機能に必要かつ最小限の作動力に制限する
⇒ (例) 産業用ロボット: 80W以下は規制対象外



◆ 火災・爆発の恐れのある物質を別のものへ代替を図る

- 油圧作動油を難燃性のものを採用
爆発性雰囲気で使う制御機器等の本質安全防爆構造のものを採用

- ◆ 有害性(有機溶剤・粉じん等の有害物、騒音、振動、過度の熱他)のない又は健康影響の十分少ないものにする

高い騒音レベルを回避するため、空圧機器の代わりに電気装置、あるいは機械的切断の代わりに水ジェットの切断装置を使用する

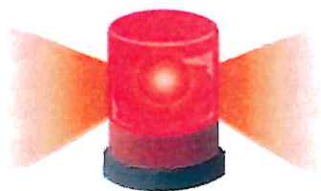
- ◆ 人間工学的配慮により、作業姿勢、作業動作、作業頻度、照度等を労働者の負担の十分小さいものにする
(身体的負担を軽減すると共に誤操作を抑止する)

- ・作業員の精神的・肉体的ストレスを低減する作業姿勢・動作の確保
- ・誤操作を防ぐ操作機器の要件を守る
(押し釦の位置、レバー・ハンドルの作動方向が機械の動作方向と一致)
- ・作業エリアの照明を適切に設定 等々

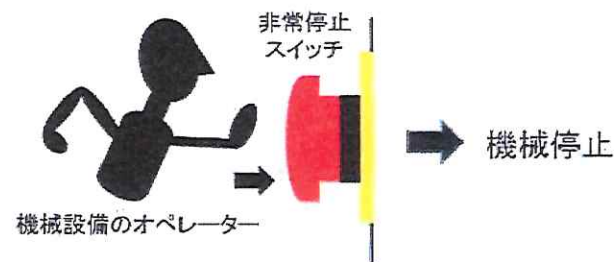
● 危険源をなくせないか、エネルギーを小さくできないか

● 作業をなくせないか、危険源に関わらない作業方法にできないか

警報の設置

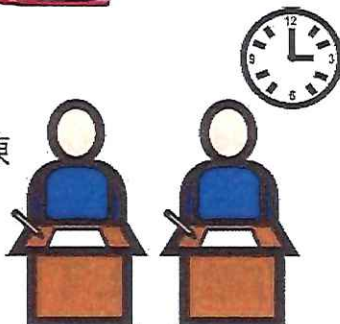


非常停止スイッチの設置



いずれも人に依存した対策！

教育・訓練



掲示・表示



経緯 : 作業環境測定は安全衛生法で6月以内ごとに1回行うことが決められています。今までは外部業者にて測定。

目的 : 自職場を従業員が自ら測定することにより、「作業環境の意識付け」とします。

測定項目 : 騒音、照明、室温、ミスト

測定時期 : 2月、8月

測定者 : 騒音、照明…安全衛生推進員
室温、ミスト…外部業者



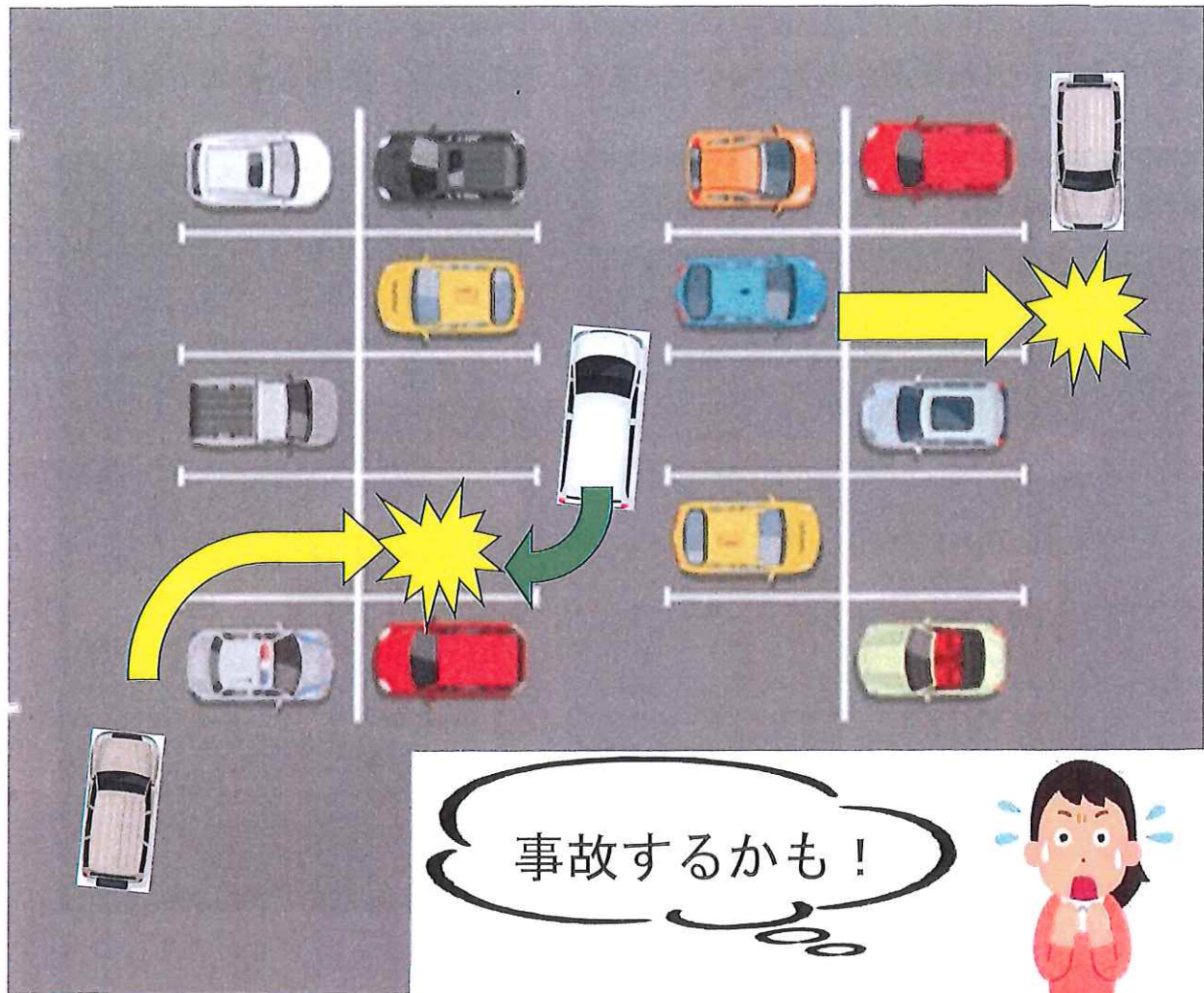
交通安全ニュース

安環連 24-001 号
2024 年 1 月 8 日
交通災害防止委員会
安全・環境管理課

駐車場内の運転マナーについて

再周知！

日々、安全衛生活動にご協力頂きありがとうございます。
駐車場内での危険運転撲滅のために、以下青枠の注意点を再認識して下さい。
「まあいいだろう」と、その油断が事故に繋がります。



駐車時、ハザードランプを付け、後方確認！



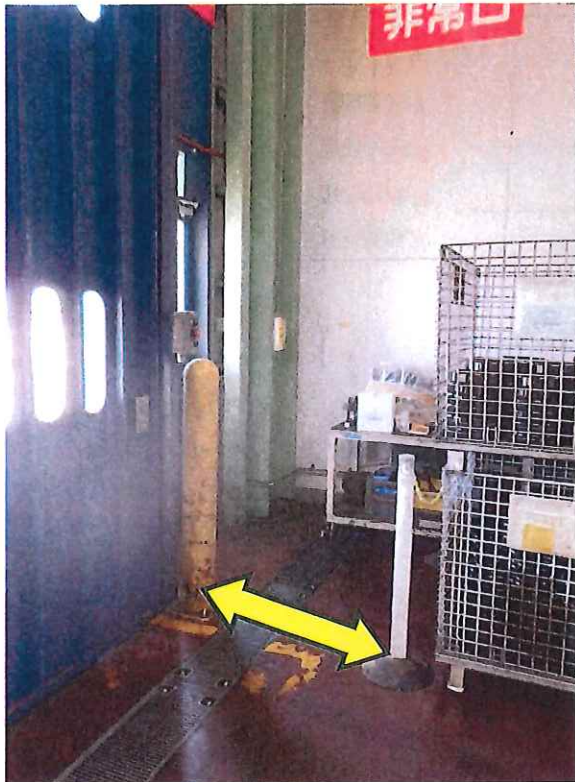
白線を跨いでの走行や駐車は禁止！！

掲示期間 : 2024 年 3 月 31 日

4. 産業医巡視報告

巡視日 12月15日(金)

作業手順・作業設備等	危険性の特定		リスク見積					
	表現	災害の型	Aケガの程度	B発生可能性	C頻度	リスクA+B+	リスクレベル	法規制の有無
第1熱処理課	東側非常口前の通路は確保されているが、人ひとり通れる程度のため、非常時に通行できずにパレットが倒壊して骨折する。	挟まれ・まきこまれ	5	2	1	8	II	無



リスク低減措置			低減措置後のリスク評価				
何をどのような方法で行うか	担当誰が	期限いつ	Aケガの程度	B発生可能性	C頻度	リスクA+B+C	リスクレベル
暫定：非常口前に置くことを禁止し、別に置き場を作成。 恒久：床面に表示予定。	第1熱処理課	1/16	5	2	1	8	II

【様式1】

リスクアセスメント

実施日:令和6年1月11日午後1:00~2:00

立会者:新妻部長、伊藤副安全管理者、西村寿洋氏

実施者:衛生管理者 白澤 弘

(設備・作業・状態)	危険・有害状態の洗い出し (表現例)〇〇が△△して□□になる、または〇〇が△△なので□□になる等時件を推測する。	リスクレベルの評					リスクコントロール			結果検証	
		発生可能性B	近づく頻度C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル	改善優先順位	対応策			リスクレベル再評価	検証者サイン
							何をどのように	担当	期限		
はじめに	本年初めての職場巡視をさせて頂きました。無災害を達成を願い行いました。本年も何卒よろしくお願ひします。長い年末年始に、事故も無く過ごされた事を喜んでおります。一方、元旦に「能登半島地震」が発生しました。石川県で細大度7を観測して、10日たち、死者200人を上回る状態になっております。亡くなられた方のご冥福をお祈りします。日頃から防災対策に、心がける重要性を痛感した所です。本日は、改善推進状況の確認と、職場配転の人に声掛け、改善推進状況の確認、年始の安全の声掛けをしております。										
安全全般	包装職場から出荷場へ、移動された上田氏に声掛けを行いました。ギックリ腰で、会社を休む経験があり、特に重量物取扱で、注意する作業項目を挙げ、実施をお願いしました。実際に取り扱う製品を、私も持ってみました。極端に重くなく、約15kg程でした。軽い物でも、持つ時は膝を落として、下から持ち上げる事をお願いしました。判らない事は、伊藤優羽君に聞いて下さいと言っております。										
〃	改善推進状況を確認しました。①自動トビラ開閉不備がありました。本日はスムーズに開閉しております。どうも強風時トラブルの様です。そんな事で、修理業者は入らないとの事でした。ドアレール内のゴミは、綺麗にされていまして。ありがとうございました。②出荷場の白線明示を、強力テープに残り全部を、張替えをさせて頂きました。ありがとうございました。③増床職場の照度を上げる対策で、LED蛍光灯を4本設置され、照度は職場として約700lxは有ると思います。関谷氏も明るく仕事がやり易いと好評でした。④リーチホークの爪飛び出し対策で、バックレストに、あて木を取り付ける対策をされましたが、あて木が動き倒れる状況でした。それを取りつけ箇所の強化補強でしっかりしました。これで安心になります。義博氏ありがとうございました。										
〃	トラックの輪止め確認を行いました。①き…3 ②え…10 ③う…10 計3台 全部輪止め実施。										
〃	年始の挨拶兼ねて安全の声掛けを行いました。行った方は次の通りです。伊藤優羽君、上田氏、満仲氏、大塚課長、丹羽氏、阿部氏、墳原氏、伊藤女史、伊藤仁志氏、関谷氏、蛭川氏、徳永氏、汪女史 計13名 "ご安全に"										

(参考)危険の重みづけの方法

- ①リスクの見積もりをします。
尚、リスクの見積もり時に意見が分かれた時は、大きい値を採用します。
- ②リスクポイント(合計値)を基にリスクレベルを評価します。

リスクの見積もり基準					リスクの評価基準	
ケガの程度(A)	発生可能性(B)	危険に近づく頻度	リスクポイント	リスクレベル		
死亡、永久労働不能 10点	確実である 4点	頻繁(毎日) 4点	16~20	IV		
重傷、障害の残る災害 7点	可能性が高い 3点	時々(1回以上/週) 3点	11~15	III		
休業災害、不休業災害 5点	可能性がある 2点	少ない(1回以上/週) 2点	7~10	II		
軽度の微少災害 2点	少ない 1点	極少ない(1回未満/週) 1点	4~6	I		

【様式1】

リスクアセスメント

実施日:令和6年1月24日午後1:00~2:40

立会者:新妻部長、伊藤副安全管理者、西村寿洋氏

実施者:衛生管理者 白澤 弘

(設備・作業・状態)	危険・有害状態の洗い出し (表現例)〇〇が△△して□□になる、または〇〇が△△なので□□になる等時件を推測する。	リスクレベルの計					リスクコントロール			結果検証	
		発生可能性B	近づく頻度C	リスクポイント(合計値)	リスクレベル	改善優先順位	対応策			リスクレベル再評価	検証者サイン
							何をどのように	担当	期限		
はじめに	今冬一番の寒波が、日本海中心に流れ込み、交通機関や、空での航行に大きな影響が出ております。通勤の際は、路面の凍結や、車の渋滞が予想されます。早めに自宅を出たいものです。本日は製品の転倒事故があり、その検証をしております。後は安全衛生全般を見ております。										
事故の検証 (1/19)	前回の職場巡視で「職場配転者」として安全の声掛けをした方でした。事故の型は、木製パレットに足が引掛かり、持っていたポリ容器を転落させた事故です。木製パレットが2個並べて置かれていたのが、全く目に入らず、それに、つまずいたのが原因です。手を床についたが、怪我はなく、足にすり傷が出来たとの事でした。医者には行ってないとの事でした。周囲をしっかりと確認し、慌てず安全を確保して、行動をお願いしております。										
安全衛生全般	トラックの輪止め確認を行いました。①き2763(車に乗乗) ②え・・・10(輪止め実施) ③う・・・100 この車は「輪止めが」されていませんでした。車の安全確保義務を順守願います。										
〃	雪きが降り注ぐ天候で、タイヤの滑りや、ブレーキ不良も起きるため、注意喚起を込めて、安全の声掛けを行っております。上田氏、満仲氏、福田女史、丹羽氏、阿部氏、境原氏、伊藤女史、伊藤仁志氏、関谷氏、蛭川氏、熊本氏、汪女史 計12名 “ご安全に”										
<特記事項>	職場巡視終了後、食堂内で、伊藤(義)氏、西村氏3人で、「安全衛生管理計画」作成に当たり、どのような内容が、ゼロ災達成に向け、有効な対策か、協議、検討をしております。対策は、ソフト面と、ハード面の両方から、検討を加えております。作成後は、伊藤義博氏より、報告される事と思っております。あくまで、会社のゼロ災を目指す推進となります。										

(参考)危険の重みづけの方法

- ①リスクの見積もりをします。
尚、リスクの見積もり時に意見が分かれた時は、大きい値を採用します。
- ②リスクポイント(合計値)を基に
リスクレベルを評価します。

リスクの見積もり基準						リスクの評価基準	
ケガの程度(A)	発生可能性(B)	危険に近づく頻度		リスクポイント	リスクレベル		
死亡、永久労働不能	10点	確実である	4点	頻繁(毎日)	4点	16~20	IV
重傷、障害の残る災害	7点	可能性が高い	3点	時々(1回以上/週)	3点	11~15	III
休業災害、不休業災害	5点	可能性がある	2点	少ない(1回以上/週)	2点	7~10	II
軽度の微少災害	2点	少ない	1点	極少ない(1回未満/週)	1点	4~6	I

各部署の月間安全取組

2月5日 安全衛生委員会

	1月				2月		
	目標 具体的に 記入してください	取り組み (具体的に1つ決めて 行ってください)	結果	安全 会議	目標 具体的に 記入してください	取り組み (具体的に1つ決めて 行ってください)	安全 会議 (予定)
例	作業者の近くにリフトが接近する時は十分注意をする。	声掛け(合図)をし、相手にリフト接近を知ってもらう。	声掛けがしっかり出来事故ゼロ		作業者の近くにリフトが接近する時は十分注意をする。	声掛け(合図)をし、相手にリフト接近を知ってもらう。	
輸送	リフト作業の時、荷物の状況をきちんと見て確認する。	横からのぞきこんだりして安全に作業する。	きちんと確認して事故0		路面や交通状況にあった運転を心掛ける。	スピードを落としたり、車間距離をとったりする。	2/16
リフト	動作前には周囲の確認を徹底する。	リフトの後方確認、交差点での左右の確認は指差呼称で行う。	少しずつだが行えるようになってきている。 事故 2件		足元、路面に注意し転倒、スリップ事故を防ぐ。	スリップを想定してスピードを落とす。移動前やリフトから降りる時は足元確認。 (指差呼称)	2/15
青山	フォークリフト運転時に安全確認を徹底する	前後左右の確認をするのと互いに指摘しあうようにする。	安全確認をしっかりと、お互いに声を掛け合った。	1/15	当日の体調をお互いに確認をする。	朝礼時などにお互い体調などを確認する。	2/5

ブルーカーゴ(株)安全衛生委員会

ヒヤリ・ハット体験状況 令和 6年 1月度

No	種類	発生日	職場	体験者職種	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	転倒ヒヤリ			輸送	トラックの荷台に乗ってで荷締めする時、荷台が凍っていたので足が滑り転倒しそうになった。
2	転倒ヒヤリ		東伸熱工	輸送	トラックに2段積の鉄コンを荷積みする為リフトで運んでいる時、上下の鉄コンの足がズれていて少しいがんだのでヒヤリとした。荷物が置いてあるときに鉄コンの足が入っていないことがある。
3	激突ヒヤリ		中村バレル	輸送	客先から出ようとトラックでバックしていた時、トラックの左後方と客先入口の門と接触しそうになった。朝方であたりが暗く、門の色も黒っぽかったので分かりにくかった。
4	交通事故(道路)ヒヤリ		一般道	輸送	朝方258号線の走行車線を走行中、追い越し車線に逆走車が走行してきたのでびっくりした。
5	交通事故(道路)ヒヤリ	1月17日	高速道路	輸送	夜中、高速道路真ん中の車線を走行中、右後方から来た車が自車の前に急に車線変更をして入ってきたので接触しそうになりヒヤリとした。
6	落下ヒヤリ	1月23日	出荷場	リフト	フォークリフトで黒樹脂パレットを片付ける際、パレットを積んだ状態で急旋回をしたためパレットが落下しそうになりヒヤリとした。
7	落下ヒヤリ	1月24日	ニチュラック	リフト	ラックサーバーにて鋼球K1を2個すくって降ろす際、爪のかかりがあまかった為前方のK1が傾いてヒヤリとした。
8	転倒ヒヤリ	1月24日	出荷場	リフト	パレタイズ済みの完成品パレットを2枚すくったとき、爪の先端がさらに先のパレットに引っかかり、持ち上がってきてヒヤリとした。
9	その他ヒヤリ	1月24日	出荷場	リフト	リーチリフトにて出荷場屋外にて樹脂パレットを片付け中、雪で身動きが取れなくなりヒヤリとした。
10	激突ヒヤリ	12月18日	青山	クレーン	ウイング車の荷台からコイル材をフォークリフトで運ぶ時、第2倉庫東側入口は勾配があり、前日の雨で路面が濡れていたためリフト前輪が横滑りをしてヒヤリとした。
11	落下ヒヤリ	1月16日	青山	クレーン	パー材をスタンションに入れて盤木をセットしスリングベルトを外しクレーンを上昇した時、スリングベルトが盤木に引掛り盤木が少し動いてヒヤリとした。
12					

激突ヒヤリ(2件)、転倒ヒヤリ(3件)、落下ヒヤリ(3件)、交通事故(道路)ヒヤリ(2件)、その他ヒヤリ(1件)

2023 年度(1月)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延 労 働 時 間 数	災害発生件数						一時不能日数 (暦日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千人率			度数率			強度率	
				不 休 業	各休業日区分件数				全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治療		不休業 災害	休業 災害	全 災害	不休業 災害	休業 災害	全 災害		
					1日~ 3日	4日 以上	障害	休災 合計		1日~ 3日	4日~ 以上	合計	障害											
					D(件)					E(件)	F(件)	G(日)												H(日)
A(人)	B(H)	C(件)	D(件)				E(件)	F(件)	G(日)				H(日)	J(日)	C/A	E/A	F/A	C/B	E/B	F/B	J/B			
1 月 度	給油	1	60.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	輸送	16	2,115.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	リフト	25	3,195.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	派遣 NTN三重製作所	8	848.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	派遣 ウチダ	2	272.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	一般	9	1,002.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	段ボール	3	218.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	青山	2	268.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	計	66	7,979.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000

※輸送(外部医療機関)1名は、10月度の被災事故による通院継続

薬箱確認 出荷場(1/29)・本社(1/31)・青山(1/30)

感染状況等	1月	2021年8月から累計
新型コロナ感染者	1	28
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	1	
合 計	2	44

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日~当月15日
給油		R5.3.16	10	665.5
輸送	R5.12.11	R5.12.12	32	2,768.0
リフト	R5.10.26	R5.10.27	77	10,368.0
段ボール		R5.3.16	24	2,819.5
青山		R5.3.16	22	3,216.0
合計			165	19,837.0

会社全体	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日~当月15日
無事故時間	R5.12.11	R5.12.12	132	10,193
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	610	110,475

※無災害時間の起算日は本来R5.2.21ですが集計の関係上R5.3.1

貸与規程

ブルーカーゴ株式会社

第1条（目的）

この規程は、会社より無貸与される制服（上着・長袖シャツ・半袖シャツ・ズボン）、ヘルメット、雨合羽、空調服、防寒着、安全靴の取り扱いについて定めたものです。

第2条（対象者）

本規程は、全社員（パート社員含む）に対して適用します。

第3条（貸与時期）

貸与時期は次のとおりとし、所定の手続きにより届出ることとします。

- ① 入社時
- ② 第4条に定める耐用年数経過後
- ③ 耐用期間内であっても、管理者が必要と認めたとき
- ④ その他会社が必要と認めたとき

第4条（貸与・支給基準）

支給基準は次のとおりとします。

品目	基準	耐用年数	数量	支給対象者
制服	無償貸与	1年	各2	全員
ヘルメット	無償貸与	3年	1	全員
雨合羽	無償貸与	3年	1	作業内容により
空調服	無償貸与	5年	1	作業内容により
防寒着	無償貸与	5年	1	作業内容により
安全靴	無償貸与	3年	1	作業内容により

※安全靴の貸与については、NTN(株)にて購入するシモン又はミドリ安全の紐靴とし、NTN(株)にて購入するミドリ安全のマジックテープの靴の貸与を希望する場合、紐靴との差額は個人負担とする。

第5条（管理）

貸与品は大切に取り扱い、常に清潔にしておかなければならない。また、善良なる管理のもとで使用し、また、保管をしなければなりません。

第6条（弁済）

自己の重大な過失により汚損・紛失等した場合は、その実費を弁済するものとします。

第7条（破損、紛失）

自己の重大な過失により汚損・紛失した場合は、自己の負担にて新たに購入することとします。ただし、業務上やむを得ない理由による汚損・紛失等については、この限りではありません。

第8条（自己購入）

耐用期間内における社員の自己購入については自由とします。ただし購入費用は自己負担とし、所定の手続きにより届出ることとします。

第9条（返却）

無償貸与品は、新たに貸与されたら直ちに前回貸与品を返却する事。返却されない場合は、自己購入と同様の扱いとします。退職時も同様とします。

附 則

（施行期日）

この規則は令和6年2月16日から施行します。